学年	中学３年	教科	保健体育科	科目	保健	単位数	1
教科書名	最新中学校保健体育　(大修館書店)			副教材名	最新中学校保健体育教科書　(大修館書店) 最新中学保健体育ノート①②(大修館書店)		
コース・クラス	中高一貫						

Ⅰ．目標

体つくり運動、ダンスや野外活動などを含む広義のスポーツが、人々の生活や人生を豊かにするかけがえのない文化となっていること、また、そのような文化としてのスポーツが世界中に広まっていることによって、現代生活のなかで重要な役割を果たしていることなどについて理解できるようにする。

人間の健康は、主体と環境がかかわり合って成り立つこと、健康を保持増進し、疾病を予防するために、それにかかわる要因に対する適切な対策があることについて理解できるようにする。

Ⅱ．授業のねらい

中学３年の保健の授業は「けがの防止」「健康な生活と病気の予防」「健康と環境」をテーマに展開される。「けがの防止」では、適切な対策によってけがの多くは防止できること、また、応急手当はけがの悪化を防止することを学習する。「健康な生活と病気の予防」では、健康や病気の要因に関心をもち、自分の生活を振り返ったりするなど学習活動に意欲的に取り組んだり、健康や病気の発生には１つの要因だけではなく、さまざまな要因が影響していることについて理解できるように授業を展開していく。「健康と環境」では、身体の環境に対する適応能力や飲料水や空気の衛生的管理について理解する。生活に伴う廃棄物の衛生的管理について理解し、健康を維持することの難しさ、重要性を実感しながら普段の生活を送れるように授業を展開していく。

Ⅲ．授業の進め方

単元ごとに参考資料を使って、相互に意見を出しながら実際の生活に生かせるよう授業をすすめる。

Ⅳ．学習上の留意点

1. 板書はノートに書き写すこと。
2. 参考資料を配布した場合には、ノートに添付すること。
3. 口頭だけの内容も試験に出題する場合があるので、メモなどを書き入れる工夫をすること。

Ⅴ．定期試験

1. 学期ごとに定期試験を実施する。
2. 出題内容は、教科書、授業での板書や配布物（参考資料）から出題する。

　１学期　期末試験：生活習慣病～自然災害によるけがの防止

　２学期　期末試験：応急手当の意義と基本～医療品の正しい使い方

　３学期　学年末試験：環境の変化への体の適応～私たちの生活と環境問題

Ⅵ．評価の方法

1. 評価は定期考査の結果と、授業の取り組み、ノート（クラッシーノートも含む）などを評価する。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	保健③【生活習慣の健康への影響】 1. 生活習慣病 2. 生活習慣病とその予防 3. がんとその予防 4. 生活習慣病とがんの早期発見とその回復 5. 喫煙と健康 6. 飲酒と健康 7. 薬物乱用と健康 8. 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処 保健④【けがの防止と応急手当】 1. けがの原因と防止 2. 交通事故の実態と原因 3. 交通事故の防止 4. 自然災害によるけがの防止 5. 応急手当の意義と基本 6. 心肺蘇生法の流れ 7. 心肺蘇生法 8. 止血法、包帯法、固定法 体育理論③【文化としてのスポーツ】 1. 現代社会におけるスポーツの意義 2. 国際的なスポーツ大会の意義と役割 3. 人びとを結ぶスポーツ	ノート・授業への取り組み １学期期末試験 ノート提出	・健康の成り立ちには主体と環境２つの要因があることを理解する。 ・運動が身体の発達をうながすだけでなく、精神的にもよい効果があることを理解する。 ・若いときから食事・運動・休養および睡眠の調和のとれた生活を続け、生活習慣病にならないことが、大切であることを理解する。 ・未成年の喫煙・飲酒は、依存症になりやすいことを理解する。 ・薬物乱用は、個人の健康を害するだけでなく、社会にも深刻な悪影響を及ぼすことを理解する。 ・日常生活で起こるけがの原因と防止策を理解する。 ・自然災害はけがだけでなく、生命を脅かすような被害をもたらすことを理解する。 ・その場に居あわせた人による応急手当の重要性を理解する。 ・応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。 ・心肺蘇生法の手順とやり方を理解する ・スポーツは重要な文化的意義をもっていることを理解する。 ・メディアの発達によって、国際的なスポーツ大会の果たす役割が大きくなっていることを理解する。

二学期	9 10 11 12	保健⑤【感染症の予防と健康を守る】 1. 感染症と病原体 2. 感染症と体の抵抗力 3. 感染症の予防 4. 性感染症とその予防 5. エイズとその予防 6. 保健機関とその利用 7. 医療機関とその利用 8. 医薬品の正しい使い方 保健⑥【環境の健康への影響】 1. 感染症の変化への体の適応 2. 気象情報の適切な利用 3. 快適で能率の良い環境 4. 室内の空気の汚染と換気 5. 衛生的な飲料水の供給 6. し尿とごみの処理 7. 災害と環境 8. 私たちの生活と環境問題	ノート・授業への取り組み ２学期期末試験 ノート提出	・感染経路はさまざまであり現代では短期間に広がる危険を理解する。 ・性感染症は予防が可能であることを理解する。 ・エイズも予防できることと、その予防法を理解する。 ・医薬品は自然治癒力を助ける働きをすることを理解する。 ・地域には健康の保持増進、疾病予防の役割を担っているさまざまな機関があることを理解する。 ・身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること、身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあることを理解する。 ・快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解する。 ・飲料水や空気は、健康と密接な働きがあることを理解する。 ・飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があることを理解する。 ・人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解する。
三学期	1 2 3			

※　シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。